

令和2年12月4日

愛知県知事  
大村 秀章 殿

公益社団法人 愛知県看護協会  
会 長 三浦 昌子



一般社団法人 愛知県訪問看護ステーション協議会  
会 長 三浦 昌子



## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関等への支援に関する 要望書

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、診療報酬上の臨時的な対応がなされておりますが、患者の受け入れ制限や感染症対策のコスト増大等により医療機関等の経営状況は悪化しています。感染の収束時期が見通せない中、持続的な財政支援がない限り経営の安定化は望めず、看護職を始めとする医療従事者の処遇悪化が懸念されるところです。現に、財政的苦境から給与や賞与の減額等を行った施設もあり、離職に繋がらないかと危惧しています。

当協会が11月に実施した緊急アンケート調査では、県内の3割近い医療機関が新型コロナウイルス患者を受け入れる病床の拡大や病床の再編、人員体制の見直しなどを検討しており、地域医療を守るため必死に頑張っています。しかしながら、人員不足は深刻で増員もできず、一方で多くの看護職は疲弊しており、計画通りに進めることができない現状があります。また、訪問看護ステーションにおいては、35%の事業所が今もなおN95マスクや手袋等の感染防護具の不足を訴えています。

つきましては、医療機関等への更なる支援として、看護職を始めとする医療従事者の雇用を維持し処遇悪化を防ぎ改善につながるような持続的な財政支援を要望いたします。

あわせて、訪問看護ステーションに対しては、不足している感染防護具の支援をお願い申し上げます。

以上